

宮城県内の穀類の放射能測定結果について

宮城県産の穀類（米・麦類・大豆・そば）における安心・安全の確保及び風評被害の防止を図るため、県では、独自に放射性物質検査を実施し、安全性が確認されるまで、生産者に対し、年度毎に、出荷・販売の自粛をお願いしているところです。

このたび、下記のとおり放射能測定を実施した結果、出荷・販売が可能となりましたので、お知らせします。

なお、今回の結果をもって、平成30年産大豆の放射性物質検査は全て終了し、県内で生産された大豆の全てにおいて、通常どおり出荷、販売等が可能となりました。

1 測定年月日

平成31年1月7日～平成31年1月15日

2 測定品目

大豆

3 測定機関

分析機関 一般財団法人 東京顕微鏡院

分析機器 ゲルマニウム半導体検出器

4 測定結果

大豆3点の検査を実施し、すべて基準値以下で、安全性に問題がないことが確認されました。

この結果をもって、**以下のとおり出荷・販売が可能**となります。

【今回出荷・販売等が可能となった地域及び品目】

大豆

該当する市町村
松島町，七ヶ浜町，多賀城市

(裏面に続きます)

<基準値 100Bq/kg>

種 別	検査計画	検査点数	基準値以下				基準値超過
			不検出	不検出～ 50Bq/kg 以下	50Bq/kg 超～ 100Bq/kg 以下	計	100Bq/kg 超過
大豆	37	3(37)	3(34)	0(3)	0	3(37)	0

※検査点数は、作付・販売等の状況に応じて変更されることがある。

※括弧内は検査点数の累計値。

<検査結果の詳細>

(単位 : Bq/kg)

種 別	採取場所	検体分析 年月日	放射性セシウム	
			測定値	食品衛生法の規定に基づく 放射性物質の基準値
大豆	松島町	1月9日	不検出	100
	七ヶ浜町	1月9日		
	多賀城市	1月11日		

※ 不検出とは、検出限界値未満であることを示す。

※ 本測定における検出限界値は、4.7～6.5Bq/kg。